

## 日本共産党市震災対策本部が炊き出しボランティアを募集します。

### ●廃業したお弁当屋さんがお弁当を提供！、調理場の設置を行政は認めず

「場所と毛布とお風呂だけ」としている市の避難所に、24日避難者の人数分をこえる布団が届けられました。食事も、市が廃業したばかりの「ととや」さんに、市民から寄せられた米や野菜などを使ってお弁当の調理を依頼、避難所に届けました。

25日からは、日本赤十字社が一食分の炊き出しをおこなうことになりました。調理器具は「ととや」さんが提供、食材は市民から寄せられたお米や野菜です。

老人福祉センター敷地内の小屋を使って調理をします。被災者自身が調理できるようにとの要望については、衛生上の理由で、行政は認めませんでした。流山福祉会館で20日夜から始めた炊き出しは、老人福祉センターで一步前進しました。

避難生活が長引く中で、被災者には、経済的な不安も広がっています。公的住宅への入居斡旋など、被災者支援の抜本的強化が求められています。

### ●避難所の炊き出し態勢を強化するため、炊き出しボランティアと食材の提供をお願いします。

共産党対策本部は25日朝の会議で、避難所の炊き出しボランティアを募集することを決めました。日赤による一食分の炊き出しだけでは足りません。当局と交渉する中で「みなさんがやれるならやって下さい」と担当部長が発言したことを受け、それならば、共産党が市民に呼びかけ、もう一食分を炊き出しボランティアで担当しようと話し合った結果です。

炊き出し部隊には、便の検査も必要です。東葛病院

で検査をしてもらえるよう話をすすめています。調理器具は「ととや」さんが提供してくれた器具を使います。食材は、市と協議して市民から提供してもらった支援品を使えるようにします。

新日本婦人の会、東葛病院友の会、民商、土建など民主団体のみなさん、赤旗読者のみなさんのご協力をお願いします。

連絡は、090-8086-3281 (いぬい) まで

## おおたかの森浄水場で井戸水を乳児・妊婦むけに給水継続しています。…流山市の対応

昨日のおおたかの森浄水場での給水活動には、水道局職員だけでなく、水道センターの職員、管工事組合加盟の工事店や地域の民生委員など、大勢の市民が駆けつけ応援しました。寒空に赤ちゃんを抱えたお母さんが長時間並ぶことになりました。もう少し、水道局まかせでなく、態勢を整えるべきでした。

水道局では、本日以降も浄水場の井戸水を煮沸して給水しています。28日からは、東部浄水場でも実施します。

### 保健センター課長から保健関係の取り組みを聞きました

- ・避難場所には3回訪問して聞き取りをしている。
- ・看護協会から被災地全体への支援要請はあるが、医師会などと協議していない。
- ・相馬市から避難する病人には市内3病院で対応することを確認している。
- ・相馬市には医薬品を一度送ったが、欠品していたものは適宜、輸送する。
- ・避難者の医療費軽減の徹底については医師会にしかただけ。各家に避難している方も含め、徹底方法を検討する。窓口への掲示は指摘をうけ検討する。
- ・予防接種も被災者、避難者ともにできる。各家に避難している方も含めた徹底はできていないため、検討する。
- ・医療費や保健関係は気軽に相談を (71540331)

### ●震災にかかわる行政の窓口は

流山市東日本大震災相談センター

7158-1111 市役所

### ●救援活動やお困り事など何でもお寄せください

日本共産党流山市震災対策本部

いぬい紳一郎事務所 7157-6140

小田桐たかし事務所 7154-8253

徳増きよ子事務所 7144-1753

植田和子事務所 7154-0288

25日朝、共産党対策本部を議会控室でおこなっていた時間、委員会室では職員を集め、行政評価の勉強会がおこなわれていました。これが今、やるべきことなのか、疑問を感じざるをえません。